

研究課題名「B型肝炎における自然経過及び治療効果に関する研究」 に関する情報公開

1. 研究の対象

2002年4月1日から2019年4月1日の間に当院に通院および入院したB型肝炎患者の方

2. 研究目的・方法・研究期間

B型肝炎の患者さんは自然経過で良好に経過する方もいますが、肝炎が続く場合は肝硬変や肝臓がんになる場合もあります。肝炎が続く場合はインターフェロンによる治療や核酸アナログ製剤による治療を行います。前者では多彩な副作用があり、後者では長期内服する必要性があり腎臓機能が悪くなることなどもあります。近年テノホビル アラフェナミドフマル酸塩という新しい核酸アナログが開発されその効果や、以前の治療法などからの変更によるその効果もまだ明確になっていません。これらを含め、B型肝炎患者の病態の把握はまだ不十分です。そこで現時点における自然経過、治療の効果および生命予後を明らかにすることで今後のより良い治療に結び付けること目的としています。研究期間は本研究が承認されてから2023年12月31日までとなっています。

本研究は以下の医師で構成された組織で行われます。

代表者：名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・講師・石上雅敏

責任者：名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・講師・石上雅敏

分担者：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学・講師・本多隆

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・助教・葛谷貞二

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・助教・石津洋二

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・病院助教・伊藤隆徳

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別や年齢、血液検査や画像検査の結果、病歴など、また血液保存の同意をされた方の血液のウイルス変異の結果を用いて研究を行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の

方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

機関名 名古屋大学医学部附属病院 消化器内科

担当者 名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学・講師・本多隆

住所 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

直通電話番号 052-744-2169

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科 講師 石上雅敏